

(5) B①キャンプファイヤー

概要	仲間とともに炎を囲み、歌を歌ったりゲームやダンスをしたりして楽しむ活動です。 薪をくみ上げ、火を呼ぶ儀式などを行うことで、火の大切さや人類が培ってきた文明の始まりを感じることができます。 また、グループの出し物を行うことで、協調性を養ったり、火と自分自身を見つめることで、自身の成長のきっかけにしたりすることもできます。様々なねらいに合わせたシナリオを作ることで、より効果的な宿泊学習とすることができます。 さらに、グループファイヤーなど少人数で活動することも可能です。			
ねらい	・ 始めの夜に行うことで、宿泊体験活動に向けての意気込みを固めることができます。 ・ 最後の夜に行うことで、宿泊体験活動を振り返り、自分や仲間の良さを考えることができます。			
条件	対象	幼児～ (対象に合わせて実施)	人数	会場の定員に合わせる。
	時期	通年 (会場により不可も)	実施の判断	雨天や強風時は中止 プレイホールでは全天候可能
準備物	自然の家		団体	個人
	☐ アンプ・マイク ☐ 片付けセット		☐ 薪（購入可能） ☐ トーチ（購入可能） ☐ ライター ☐ BGM（貸出可能） ☐ 衣装（貸出可能） ☐ ゲーム用具	☐ 懐中電灯
活動の流れ (1～2時間)	【準備】 ・ キャンプファイヤーの準備や片付けについて事務室で確認をします。 ・ 物品準備、薪組み、トーチ、消火用バケツなどを準備します。 【活動】 ・ 準備してきたシナリオに沿って実施します。 【実施後】 ・ 完全消火と後片付けをします。(片付けのマニュアルに沿って、確実にいきます。) ・ 貸出物品を事務室へ返却します。			
安全管理 留意事項	・ 以下の4か所で実施が可能です。 営火場A(少し坂道を上る。星空がきれい。)、営火場B(林の中。電源が取れる。)、 営火場C(本館に近い。)、プレイホール(天候に左右されない。) ・ 火の扱いには十分に注意してください。風で火の粉が飛ぶことがあります。 ・ 必ず、消火用のバケツの準備をしてください。 ・ 入退場時は暗闇になるので、足元などに気を付けて歩いてください。 ・ 当日中に完全に消火してください。 ・ 消火の際は、営火台には直接水をかけないでください。(破損の恐れあり) ・ 残炭の処理は、水の入ったバケツに残炭を入れ、消火栓近くの残炭入れ（銀のケース）に流し入れます。			